熊本暮らし人まつり みずあかり写真提供・使用・掲載申請書

（2018 年度版）

「みずあかり」の写真使用・掲載をご希望の方は、本申請書をご記入いただき、みずあかり運営委員会事務局へ申請をお願いします。

「みずあかり」の写真提供・使用・掲載の厳守事項

◎みずあかり事務局より許可され支給された公式写真データ以外は、使用・掲載はしません。
◎掲載の確認の為に、写真使用・掲載媒体を、後日事務局宛に郵送又はメールにて送付します。
　※本申請書の控え（コピー）を添付してお送り下さい。
◎みずあかり公式写真を使用・掲載された印刷物や媒体を販売しません。
◎写真の下部、もしくはその近くに、「熊本暮らし人まつり みずあかり提供」のクレジット表記を行います。
◎みずあかり公式写真については、申請者及び申請内容以外での使用・複製・配布は一切しません。
◎みずあかり公式写真の提供・使用・掲載についての一切の権限は、みずあかり運営委員会に帰属することを認識し、具体的な写真の取扱については、みずあかり運営委員会の指示に従います。

以上の厳守事項を誓約し、次の通り、写真使用・掲載を申請します。

申請者情報	申請期日	西暦（　　）年（　　）月（　　）日
	団体・法人名	
	写真使用の担当責任者名	印
	郵便番号・所在地住所	（〒　　－　　）
	担当者電話番号	
	担当者メールアドレス	

写真使用・掲載内容	内容・目的・概要 ※具体的にご記入下さい。 印刷物のサイズ・発行部数等も	
	掲載物・印刷物の名称	
	使用したい写真素材番号	
	使用期間と時期	
	配布エリア（WEB の場合は URL）	
	制作会社・団体名・担当者 （申請者以外が制作・発行する場合のみ記入）	
	写真素材の提供方法	□電子メールでのデータ送信を希望する。 □データ送信システム（宅ファイル便、ファイアーストレージ等）でのデータ送信を希望する。 □その他（　　）

本申請書は、FAX 又はメール添付にて、次の事務局まで提出・申請をお願いします。

みずあかり運営委員会事務局（平成 30 年度事務局）
〒861-2101 熊本市東区桜木 3-1-26
ディカーナビル 1F
FAX　096-300-3470
E-mail　mail@mizuakari.net

※みずあかり事務局使用欄

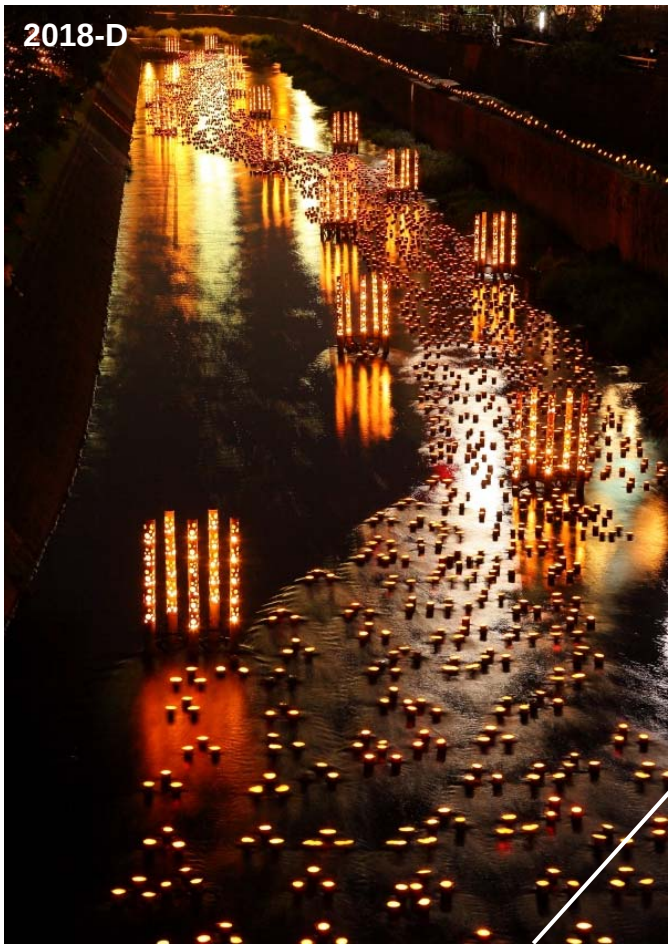
担当	事務局	事務局次長	事務局長

（特記事項）

熊本暮らし人まつり　みずあかり
メディア掲載用写真一覧（2018年版）

熊本暮らし人まつりみずあかりの写真使用・掲載をご希望の方は、「写真提供・使用・掲載申請書」に必要事項をご記入頂き、みずあかり運営委員会事務局へ利用申請をお願いします。

◆みずあかりの象徴写真



みずあかり運営委員会

熊本暮らし人まつり　みずあかり
メディア掲載用写真一覧（2018年版）

熊本暮らし人まつりみずあかりの写真使用・掲載をご希望の方は、「写真提供・使用・掲載申請書」に必要事項をご記入頂き、みずあかり運営委員会事務局へ利用申請をお願いします。

◆みずあかりの情景写真

2018-1

2018-2

2018-3

2018-4

2018-5

2018-6

2018-7

2018-8

みずあかり運営委員会

熊本暮らし人まつり　みずあかり
メディア掲載用写真一覧（2018年版）

熊本暮らし人まつりみずあかりの写真使用・掲載をご希望の方は、写真提供・使用・掲載申請書」に必要事項をご記入頂き、みずあかり運営委員会事務局へ利用申請をお願いします。

◆みずあかりの準備作業写真

2018-あ

2018-い

2018-う

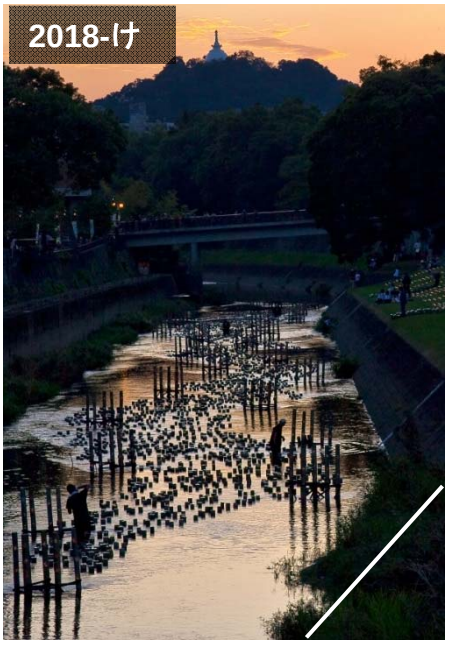
2018-え

2018-お

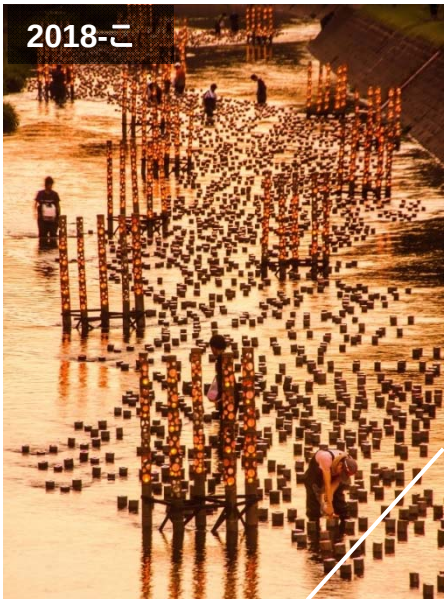
2018-か

2018-き

2018-け



2018-こ



2018-く

みずあかり運営委員会

熊本暮らし人まつり　みずあかり
メディア掲載用写真一覧（2018年版）

熊本暮らし人まつりみずあかりの写真使用・掲載をご希望の方は、「写真提供・使用・掲載申請書」に必要事項をご記入頂き、みずあかり運営委員会事務局へ利用申請をお願いします。

◆写真キャプション

2018-1 2018-2	竹のデザインは毎年変化します。デザインと祭りの監修は、熊本の竹あかり演出家「ちかけん」が担当します。
2018-7	花畑公園で竹ぼんぼりに熊本名水を注ぎ、和ろうそくに阿蘇山の御神火を灯す巫女たちの姿。初日の神事では、巫女舞も行われます。
2018-8	メイン会場「花畑公園」にある推定樹齢600-700年の大クスノキの周りに竹ぼんぼりの献灯台を設置。和ろうそくに火を灯し、願い事を書いた短冊を添えた竹ぼんぼりを献灯して頂きます。（竹ぼんぼりは寄付金を含む500円で当日販売。売上金は、運営資金として活用します）
2018-5	メイン会場「花畑公園」では、毎年祭りの初日に代継神社の宮司による神事が行われます。かつて加藤清正がこの地に「花畑御殿」という広大な御殿を設けた際、それまでここにあった代継神社が本荘（現在は龍田）に遷されたという背景があります。
2018-6	携帯やカメラで会場の風景を撮影する来場者たちの姿。
2018-3 2018-4	熊本市内の幼稚園生、小学生、大学生などの手によって制作された三角灯籠が、「城彩苑」や「花畑公園」に設置されます。
2018-か ～ 2018-こ	坪井川に入り、浮き灯籠の設置作業を行うボランティアの様子。
2018-あ ～ 2018-こ	みずあかりは、延べ6,000人以上の市民ボランティアが作業、運営に携わり、この祭りを支えています。当日、会場のろうそくに灯りを灯して頂く「あかりびと」も募集しています。（作業日程・内容等、あかりびとに関してはホームページをご覧下さい。）